

昭和 58 年 4 月 新潟市立工業高等学校の跡地に北部コミュニティセンター入所  
 昭和 58 年 4 月 北部コミュニティセンターオープン、本館 2F に舟江図書館移設オープン  
 令和元年 7 月 旧入舟小学校の跡地に北部コミュニティセンターオープン  
 同日 北部コミュニティセンターオープンに伴い、本館 2F に舟江図書館移設  
 令和成 4 年 3 月 跡地一般競争入札 株式会社「廣瀬」が落札 校舎解体  
 記念碑は台座の脇に寝かされた



同年 10 月 1 日 よみがえれ！わが町に「新潟市工之跡」の石碑の記事  
 同年 10 月 17 日 附船町住民の岩間 正吉氏が記事を発見、

この碑は、新潟下町に唯一あった高校であり、7,000 名の若き技術者が巣立ち港町新潟の発展に貢献した。昭和 39 年の新潟地震では、地域の方々の避難場所となった。昭和 57 年、新潟市学校統合方針により閉校したがその後、北部コミュニティセンターとして、図書館として、地域の方々の運動場として、下町に親しまれた施設であった。この石碑は、新潟市下町の歴史でありその「証し」として残し、次世代に伝えるべきものと、市立工業高等学校卒業生の加藤 功に連絡した。

同年 11 月 20 日 附船町町内会長の近藤 清氏も賛同、記念碑保存の署名集め開始

同年 11 月 30 日 佐藤正人市議、伊藤健太郎市議と加藤が、ひらせいホームセンター清水社長と会い、保存の OK をいただく

同年 12 月 13 日 「新潟市工之跡」記念碑保存の町内会回覧署名集めを配る

同年 12 月末 「新潟市工之跡」記念碑保存の署名簿 400 名となる

令和 5 年 2 月 26 日 会の名称を「新潟市工之跡」石碑保存の会とした

同年 3 月 「新潟市工之跡」記念碑台座案作成

同年 4 月 「新潟市工之跡」記念碑移設看板の文面案を作成

同年 6 月 ようやく記念碑を置く場所が決まる

同年 7 月 「新潟市工之跡」石碑移設除幕式を予定

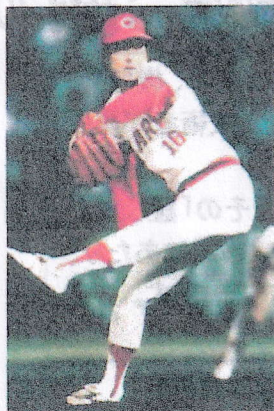
### 新潟市立工業高等学校卒業生

★佐藤 忠男氏 文化功労者



日本の評論家、編集者。  
 日本映画大学名誉学長、  
 1989 年、第 7 回川喜多賞。  
 1996 年、紫綬褒章を受章。  
 2019 年、文化功労者。  
 2022 年死去、91 歳。

★三輪 悟氏 プロ野球選手



甲子園県予選準決勝に進む。  
 1970 年西鉄ライオンズ入団。  
 1975 年広島東洋カープへ移籍。  
 球団史上初のリーグ優勝に貢献。  
 自叙伝「マウンド人生」を出版。  
 2021 年死去、75 歳。

★久仁 京介氏 作詞家



(社)法人日本作詩家協会副会長  
 1967 年、作詞家デビュー。  
 2015 年第 48 回日本作詩大賞受賞  
 新沼謙治「津軽恋女」  
 日吉ミミ「男と女のお話」  
 福田こうへい「南部蝉しぐれ」  
 など多数の歌手の作詞を作る